

お知らせコーナー

卒業証書授与式

菅生中学校 ☎977-8787
3月10日(月) 10時
菅生小学校 ☎977-0914
3月19日(水) 10時
稗原小学校 ☎976-4557
3月19日(水) 10時
○会場は各校とも体育館で

ごみのない町にしたい

(菅生小「学校だより」から)

♡今年度、環境教育の一環として、児童が『クリーン作戦』に取り組んでいます。昨年度は家の空き缶を持ってきて、空き缶つぶしをしていましたが、『菅生の町をより住みやすい町へ』という願いから、町のごみを少しでも減らそうと、環境委員会が中心となって毎週火曜日の登校時に通学路の空き缶拾いをしています♡スーパーのポリ袋を持ち、さらに手が汚れないようにビニールの袋を軍手代わりにして、工夫しながら取り組んでいます。♡回を重ねるごとに「あそこは、いつでもごみが多いんだよ」「この前拾ったからか、今日はなかったよ」との声が、児童から聞こえてきました。町のごみの様子を目を向け、少しずつ気づき始めているようです。3学期は寒くなりますが、この活動を続けていき、きれいな町、菅生を守る子どもに育てたいと願っています。

春休み 子ども劇場

ゆかいなジャック

オペレッタ劇団『ともしび』による音楽劇
☆3月30日(日) 午後1時30分から3時
☆菅生分館にて、無料
☆幼児と小学校低学年およびその親80名
【申込み】3月21日(金) 午前10時より
菅生分館で入場整理券配布(先着順)
【問い合わせ】宮前市民館菅生分館
☎977-4781

利用グループの1年間の発表会です!

ひこばえ 太鼓 ミュージカル 人形劇 大型紙芝居

3月8日(土) 午後2時~4時

【問い合わせ】菅生こども文化センター
☎976-0444

卓球・映画会

☆卓球大会 3月8日(土) 午後2時から4時

☆映画会 3月12日(水) 2時から4時半

☆ゲーム大会 3月19日(水) 2時から4時

☆お年寄りと子どものふれあい会

3月26日(水) 午前10時から午後2時

【問い合わせ】蔵敷こども文化センター
☎977-2577

菅生中学校区地域教育会議ニューズレター(10)

1997年2月20日

発行: 菅生中学校区
地域教育会議

編集: 広報委員会

事務局: 菅生中学校

☎977-8787

どらりあんぐる菅生

体育館落成!

菅生中の宝として

- 広い 明るい
- プールも

菅生中学校の体育館が約1年半の工事を経て完成しました。バスケットボールコート2面の広さを持つ体育館、格技室、プール、ミーティングルーム、更衣室を備えたものです。2月1日、歴代職員や地域の人々を迎え、落成記念式典が行われました。

辻野校長は、教育委員会との折衝に尽力貢献された歴代校長や地域の方々をはじめ、中学生に体育館や校庭を開放してきた菅生小と稗原小、また入学式や卒業式の会場となった聖マリアンナ医大、事故がないようにと細心の注意を払ってくださった工事関係者の方々に深く感謝の意を表しました。さらに、体育館の建設のために、棲息していた虫や動物が行き場を失ってしまったこと、体育館を地域のスポーツの場として開放していきたい旨を話されました。



来賓のお祝いの言葉では、薄井PTA会長は「長い運動のたまものである」ことを述べられ、また六代校長の江頭先生は生徒たちへ「小学校を使わせていただいたお蔭で部活動を続けることができた。人と人との心のふれあいを大切に、後輩たちのためにも大事に使ってほしい」と話されました。工事を請け負った浅田工務店からは「いつも愛情と誇りをもって工事させてもらった。愛情をもって大事に使ってほしい」との願いが伝えられました。生徒代表の阿部くんは「完成を見ずに卒業していった先輩たちには申し訳ない。でも、立派な体育館ができてとても嬉しい。菅生中の宝として使っていきたい」と力強く話しました。

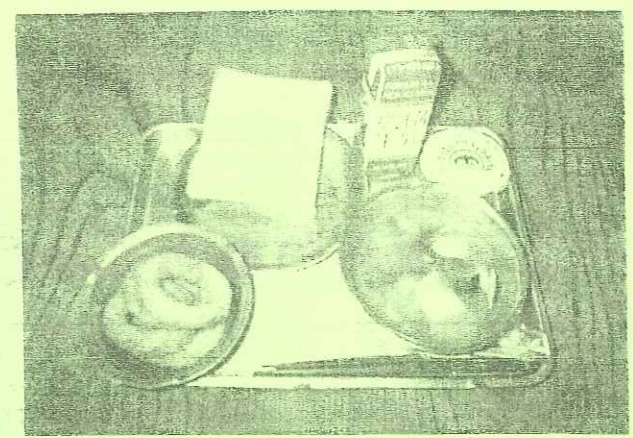
生徒たちは「広々として使いやすい」「窓がたくさんあって明るい」「夏は涼しいけど冬は広いので寒い」「プールができて嬉しい」「とても便利になった」と嬉しそうに感想を話していました。

い考える
食を考える
あなたの食生活を豊かに学校給食が見えてくる

主催
菅生中学校区
地域教育会議

第3回
地域教育集会

1月23日、稗原小学校にて「学校給食を考える」というテーマで討論が行われました。「給食を続けるべきか、それともやめるべきか」YES派とNO派に分かれてたたかわされた意見を拾ってみました。



- YES**
- ・自分の子どもが給食が好きだから
 - ・食材の豊富さ、意外性が優れている
 - ・嫌いな物でもつられて食べてしまう
 - ・給食によって栄養が補える
 - ・好き嫌いがなくなる
 - ・家庭とは違う味付けのものが食べられる
 - ・給食は安心である（40年以上続いていたのはそれなりのメリットがあるから）
 - ・親自身が給食に楽しい思い出がある



給食派！

YESグループ、NOグループのどちらからも「カフェテリアやバイキング形式などを取り入れたり、給食と弁当のどちらかに決めるのではなく選べる方式がいい」という意見や、その他YES派NO派にこだわらない意見も出ました。

給食を考えることは、「食」のことと同時にこの制度に伴うさまざまな問題があることを気づかせてくれたのではないかと思います。さらに、もう少し掘り下げた討論を続けることが期待されます。

- NO**
- ・弁当は親の愛情表現である
 - ・弁当は親と子をつなぐもの
 - ・公を信用していない（O157の事件でも明らか）
 - ・その子に合った量や食材がある
 - ・みんな同じものを強制的に毎日食べさせられることが疑問
 - ・添加物や農薬などの心配がある
 - ・食べることは親の責任（そこまで学校に任せることはない）
 - ・民主主義では選ぶのは個人の自由
 - ・食べ慣れたものは気持ちが落ちつく



参加者の声から
地域の中でこのような討論会を開くことに大きな意味があることを感じます。同じ地域で住む者同士、また仕事の上で関わりをもつ者同士の連体をいろいろな面で生かしていけるといいと思いました。次回も楽しみです。

- 学校給食歴史メモ**
- ・1889年（明治22）
山形県鶴岡町の私立忠愛小学校で貧困児童に無料で給食
 - ・1923年（大正12）
文部省、児童の衛生改善のため学校給食を奨励
 - ・1940年（昭和15）
貧困児童、栄養不良児、虚弱児へ給食内容の充実が図られる
 - ・1950年（昭和25）
アメリカの占領地域救済資金により八大都市の小学校児童に完全給食実施
 - ・1955年（昭和30）
「日本学校給食法」公布、実施
 - ・1976年（昭和51）
米飯導入
 - ・1989年（平成1）
学校給食は「特別活動」の中の「学級活動」に位置づけられる

知っていますか？
子どもの注意信号
～「稗原の教育を語る集い」より～
（1月18日稗原小にて）

- すぐカッとして、ケンカ早くなる
- 弱い者に対して攻撃的になる
- 妙な“はしゃぎ方”をする
- 下痢や発熱の回数が増える
- まばたき、鼻ならしなどのチック症状
- おなかが痛い、頭が痛い、足が痛い、だるい、眠れない、などの症状がある
- 視線がなかなか合わなくなる
- 爪かみ、鉛筆かじりなどが増える
- 字が雑になる
- 集中力に欠け、教科書に落書きする
- 午前中、何となくボーッとしている
- 表情に覇気がなくなる
- 先生や大人にまつわりつくようになる
- 忘れ物や宿題を忘れることが多くなる
- 遅刻、欠席回数が増えたり、保健室へ行く回数が増える
- 授業中、あくびが多くなり、姿勢が悪くなる
- 下校したがらなかつたり、逆に異常に早く帰りたいようになる
- 一人ぼつんとしていることが増える



子どもは注意信号で何かを訴えているようです。子どもが求めているものや、子どもの気持ちに添える大人であることが大切かもしれません。

給食派！